



世界に希望を生み出そう

# Rotary International District 2800 山形西ロータリークラブ会報

会長：長澤 裕二 幹事：三沢 大介

地区目標 ロータリーを語ろう そして ロータリーを楽しもう

クラブテーマ 新会員を育てながら、ロータリーを楽しもう

◆点鐘：長澤 裕二 会長 ◆ロータリーソング：我等の生業  
◆司会：新藤 幸紀 S.A.A. ◆会場：山形グランドホテル



第3014回例会 令和6年5月20日(月)

## 会長あいさつ

長澤 裕二 会長



今日、私の息子に「お前、ロータリークラブに入れ」と言いました。最近ずっと言っていたんです。言ってもなかなか「いや、今はまだ」と断られていましたが、今朝「入ってもいいよ」と言ってもらいました。ぜひ皆さんのお力添えをお願いしたいと思います。

私が映画館をやっていたことで、息子には「お前は好きな仕事をしていいから。親が好きなことをやっているんだから。」と、息子に言って育てました。それで、中学校からブラバンをやっていて、大学に入る時に音楽をやりたいと。作曲家になりたいみたいなことを言ったんですね。でも作曲家になったって飯を食えないし、どうするんだと言ったら学校の先生になるということで、山大の教育学部に入りました。山大はなんとか中学校の音楽課程に引っかかりまして、卒業して新庄の中学校の先生をやっていました。2年間新庄市内、3年目から金山中学校のほうに行き、そこで6年間務めまして、30歳の時に辞めて帰ってきました。

息子が30の時に、私の妻が子宮筋腫で入院して子宮を切除する手術をした時に息子が病院に来て、病院から「旦那さんはどうしたの?」と言われたそうです。その時私は出張してその場にいなかったのです。こんな時に出張しているのか?ということで、これではまずいと思ったらしく、今なら辞めて帰って来れるからということで、結局退職届を出して辞めて帰ってきました。

中学校の先生をやったのが8年で、私の下で働いたのがもう17年ということで、そっちのほうの方が長くなってしまいました。去年の2月から社長になっています。

私は女房と2人で相談しながらやっていますが、息子は兄妹で、妹と相談しながらやっています。娘は東京に滞在していて、東宝や松竹などメジャーな会社は息子がやって、小さな会社は全部娘が担当して、東京で子育てしながらやっています。

息子はロータリーに入ってくれるということで、なるべく早く務まるようにしたいと思います。3年くらい前に山形経済同友会のほうを交代したんですけど、なかなか顔も覚えてもらっていないみたいで、推薦人を集めるのに苦労しました。ということで、近々会員になります。よろしくお祈りします。

## ゲスト卓話



子宮は地球を救う  
～子宮頸がんは撲滅できる病気～

井上 聡子 さん

[さとこ女性クリニック 院長]

皆さん、こんにちは。今日は「子宮は地球を救う」というお話をしたいと思います。子宮頸がんは撲滅できる病気ということを皆さんに徹底的に講義をしていきたいと思っています。

「子宮がん」と一言でいいますが、「子宮がん検診」というのは今存在しません。医学統計を集めるときに、子宮頸がんと子宮体がんというのは全く別の病気として、今日のテーマは子宮頸がんです。今検診は「子宮頸がん検診」ときちんと分かりやすく呼ぶようになっております。若い女性に子宮頸がんが急増している。これ非常に問題なんですね。

今女性全体のがんで一番多いのは乳がんです。ただ乳がんは見つかるのと治るので、死亡で一番多いのは大腸がんです。でも、若い女性で多いのは子宮頸がんですね。そして子宮頸がんの死亡者の増加。子宮頸がんによる死亡者は毎年3,000人弱いるといわれ日本はいまだに増加傾向、そして先進国で唯一のことなのです。もう先進国諸国では、ほぼ子宮頸がんは撲滅に向かっております。そして若い女性ですから、現役のママ。まだお子さんが小さかったり、まだ妊娠出産されてない将来のママ。現役と将来のママの命を救う病気ということで、「マザーキラー」というような呼び方をされています。

子宮頸がんがなぜ撲滅できるか、原因がはっきりしているからなんですね。子宮頸がんというのは、発がん性ヒトパピローマウイルス（HPV）が原因であるということが分かっています。これを見つけた先生はノーベル賞をとっています。そしてHPVは性的接触で誰でも感染する。そして発がん性HPVが持続感染をすると細胞が前がん状態になり、そこからまた何年か経って子宮頸がんになると。

日本だけどんどん増えているという話をしましたが、諸外国はどうして減ってきているかということ、12歳前後の女子を中心にワクチンを徹底しているからですね。原因が分かるとワクチンができるんですね、ウイルスが原因ですので。ワクチンを接種している。

ところが、日本のHPVワクチンの接種率、定期接種になったのは1994年くらいなのですけれども、日本人というのは非常にまじめなので、定期接種しても無料ですから90%近く打っていたんですね。ところが、「副反応疑い報道」。ここ間違っていたらダメなんですけれども、「副反応報

道」ではないんですね。「副反応もどき報道」と私は呼んでいますけれども、報道が過熱しまして、あなたは今回打つ対象にあっていますよ、というお知らせを市町村の仕事として対象者にちゃんとお知らせしなくてはいけないのですが、その積極的接種勧奨停止という、これは世界でまれに見るとんでもない事態が起こってしまったのです。

副反応もどき報道と言いました。それはそれは過激な報道でして、けいれんを起こす、車椅子生活になって学校に行けなくなった。すぐ名古屋スタディという調査が入りまして、症状はワクチンが原因ではないということが割と早くはっきりしたんですね。でも、科学的にはもう大丈夫だというゴーサインが出たので、私たちは早々に積極的接種勧奨が再開されるものだと思っていたら、なかなか再開しない。どうしてかと言うと、それに乗じてさまざまな思想を持った方、陰謀論などすごく声がかいんです。正しいことを言っているたくさんの良識的な人たちより、声のかい人たちのほうが通るんですね。医療じゃなくてももう政治の問題ですよ。

でも、「コロナのおかげ」でいかにワクチンが大事かということを一一般の国民の人たちは思い知りました。ようやく2021年に積極的接種勧奨再開にこぎつけたわけですね。平成9年生まれまでさかのぼって、キャッチアップ接種、無料で打てるんです。この期限が2025年3月まで。現役の高校生たちも、今年度無料で受けるのは最後です。来年度以降は小6から高1まで定期接種に当てはまる人だけが無料ということになります。ちなみに3回を6カ月かかり、自費で受けると10万円くらいするワクチンなのですね。ぜひ商工会議所で企業さん向けにこのポスターをあちこちに貼るのを協力していただきたい。

今やっているのは9価ワクチンといって、9種類のウイルスをブロックするんですね。9種類というのは、HPVにはたくさんの型があるのですが、16と18で約6割、そのほか5つ、つまりがんに関係する7つの型プラス2、というのは尖圭コンジローマというイボイボができる病気なんですけれども、9価ワクチンで子宮頸がんの90%と尖圭コンジローマを予防できます。非常に重要なことですが、コロナのワクチンは重症化を防ぐワクチンです。HPVワクチンは感染しないというワクチンなんです。これは本当に画期的なワクチンです。でも100%じゃない、残り10%は子宮頸がんには昔から非常にいい制度がありまして、検診制度というのがあります。ところが日本は検診を受診する率も非常に低い。そしてもっとも受けてほしい若い女性が受けない。検診というのはお知らせが行っても「じゃあ受けようかな」と自主的に出向いていただかないと受けられないんですね。日本は予防や検診が非常に弱いんですね。多分それは保険診療という素晴らしい世界に誇る制度があるからという裏返しだと思います。誰もが最高水準の同じ治療を保険診療で受けられる。これはもう世界の人たちから本当に羨ましがられていることなので、誇れることではあるのですが、「病気になったら治せばいい」という発想で、もし予防などに弱かったのであれば、本当にこれは残念なことですね。

ということで、子宮頸がんは1次予防がワクチン、2次予防が検診です。前がん状態というのを顕微鏡で見つけることができるんですね。前がん状態も軽いものであれば免疫力、自然治癒力で正常な細胞に戻るのですけれども、前がん状態の高度なものになっていくと、数年かけて本物のがんになるんです。前がん状態のところで、子宮の入口を円錐形にくり抜くような手術をすることによって、子宮頸がんはもう99%治すことができるんです。そして、当然子宮を残せるというメリットがあるわけですね。子宮を残せるということは、将来その女性が妊娠・出産をすることができるということなんです。

子宮頸がんはヒトパピローマウイルスの感染で起きます。前がん状態というのがあって、早期発見することができる。有効な検査法が確立している。予防ワクチンと定期的な検診によっても、「撲滅が可能」と言っていると思います。オーストラリアなどはそろそろ撲滅宣言を出そうかなというフェーズに入ってまいりました。この積極的接種勧奨が滞ってしまった8～9年の間で本当に日本だけ取り残されてしまった感がありますので、今とても慌てております。

皆さまにお願いします。ロータリーの設立趣旨は社会貢献をするということだそうですから、「自分には子宮がないから」なんて言わずに、家族や女性スタッフにワクチンと検診を奨めていただきたい。皆さまのお立場で、検診に関しては「受ける機会をこのように設けていますよ」、「休み扱いではなくて公休のような形で受けることができますよ」、「なんなら接種する負担もうちで負担しますよ」というようなアナウンスをしていただきたい。ワクチンは、ぜひ打ってほしいと。人脈を生かして正しい情報を広めていただきたい。医者に言われるよりは身近な人に言われたほうが「ああ、そうなんだ」と、これはよくあることなんです。

実はHPVは肛門がん、陰茎がん、咽頭がんの原因でもあるんです。ということで、諸外国では男性が無料接種できる国も結構あるんですね。1950年代、はしかで2万人死んでいた。今、0人です。ワクチンのおかげですね。ご存じでしょうか。南陽市は山形県で唯一男性が無料でワクチンを打てる自治体です。

現代の女性、今の方は平均1.3人しか産みませんから、10代前半で月経が来て50歳で閉経するまで450回生涯で月経があるんです。昔と比べて9倍も月経回数が増えた。そのために増えてきた病気が子宮内膜症。さらに不妊症になったり、卵巣がんになったりと、さまざまな病気を引き起こしています。低用量ピルといって内膜症の予防ができる、排卵をお休みさせることができるお薬があるんですね。これは富山県の新聞ですけれども、富山県の企業などは企業でこういったものを取り入れて活用したいという女性職員に、助成しているということです。それで家庭でも会社でも地域でも、男性も女性もみんなが働きやすい環境になっていくと思います。皆さま、さまざまな職種の方たち、しかも発言力、決定力がある方々がいらっしやることと思いますので、今日、私からこのようなお願いという形で卓話をさせていただきます。どうもありがとうございました。

## 幹事報告

三沢 大介 幹事

- 最終クラブ協議会のご案内を理事の方と各委員長にご案内させていただきましたけれども、その際に事業報告について6月15日の締切りということでご案内しております。事務局にメール、またはファクスで6月15日まで事業報告をお願いします。また、その時点において事業が完了していない委員会もあると思いますので、事業が完了次第、速やかに事業報告の提出をお願いします。

## ニコニコBOX

〈5月20日〉

### ニコニコボックス委員会／御礼およびお願い

いつもニコニコにご協力をいただきまして誠にありがとうございます。今年度も残すところあと1カ月となりました。あと回数も、例会は少ないですが、ぜひニコニコのご協力をよろしくお願いいたします。

| 本日出席 (5 / 20) | 会員総数 | 出席会員数 |
|---------------|------|-------|
|               | 103名 | 60名   |